

## 令和2年度静岡県人権啓発センター事業実績

## 1 指 標

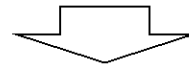
「静岡県が人権尊重の意識が定着した住み良い県となっている」と感じる人の割合の増加を図るため、人権啓発センターの各種人権啓発活動に参加する県民の人数を増やす。

○県民への人権尊重意識の定着状況

「静岡県が人権尊重の意識が定着した住み良い県となっている」と感じる人の割合（目標：50%）

H11	H16	H21	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
20.5	26.5	30.5	41.8	38.8	38.9	37.1	45.3	38.1	48.2

\*H11、16、21、26、R1は、人権問題に関する県民意識調査の結果  
H27、28、29、30、R2は、県政世論調査の結果



## 【年代別分析】

令和2年度は、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の割合が、前年度と比べ、20歳未満を除いて全て上昇している。20歳未満についても、65.0%と、他の年代よりも割合は高い状況が続いている。

一方、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」の割合も、令和2年度は、前年度に比べ上昇している。

(%)

	そう思う、 どちらかといえばそう思う				そう思わない、 どちらかといえばそう思わない			
	H29	H30	R1	R2	H29	H30	R1	R2
18～19歳	45.5	66.7	66.6	65.0	9.1	11.1	0.0	0.0
20歳代	35.7	37.9	27.9	41.5	12.8	20.2	7.6	11.9
30 "	34.1	37.1	29.9	32.1	17.4	17.1	9.7	15.4
40 "	34.4	34.9	25.3	42.9	12.3	12.8	8.5	9.9
50 "	34.2	40.8	37.7	42.4	13.6	12.5	5.4	9.9
60 "	37.4	46.7	36.8	52.9	13.6	9.2	3.5	8.0
70歳～	42.0	59.8	45.8	63.8	10.2	5.3	4.2	4.3

(※H26調査の対象者は20歳以上)

<参考～総合計画（新ビジョン）における活動指標～>

項 目	基準値	現状	目標値
人権啓発指導者養成講座受講者数	(2017年度) 90人	(2020年度) 60人	毎年度 125人
人権啓発講座等参加者数	(2017年度) 26,040人	(2020年度) 集計中	毎年度 30,000人

## 2 令和2年度事業実績

### (1) 人権週間を中心とした啓発活動

#### ① マスメディアなどを活用した啓発広報

		事業実績	
全域	ポスター掲出	11/下旬～12/中旬 ・JR、私鉄各駅構内、学校、県内テレビ局、金融機関 等 掲出数:3,000枚	
	スポット CM 放送	テレビ (15秒間)	12/4(金)～12/10(木) ・民放2局(SBS、SDTV)、計29回
		ラジオ (20秒間)	12/4(水)～12/10(火) ・民放2局(SBS、K-MIX)、計20回
	インターネット	バナー広告 Instagram・Twitter・facebook等のSNSの活用、 特設サイトでの動画配信 等	

#### ② 講演会等の開催

		事業実績
東部	人権講演会①	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止
中部	人権講演会②	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止
西部	ふじのくに 人権フェス ティバル	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止 代替手段として、人権フェスティバル講演予定者であった山本篤選手の講演動画を撮影し、関係機関への配布及びセンターでの貸出しを実施

#### ③ その他の活動

		事業実績
中部	街頭啓発 キャンペーン	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

### (2) 人権週間以外の啓発活動

#### ① 研修関連事業

##### ア 出前人権講座

		事業実績				
全域	出前人権講座	実施先	令和元年度		令和2年度(見込)	
			回数	人数	回数	人数
			国・市町機関	13	625	5
県機関	12	1,048	9	729		
学校	27	4,737	7	1,663		
企業	21	956	5	124		
団体	18	638	7	275		
計	91	8,004	33	3,104		

## イ 子どもの自尊感情を育むためのセミナー

		事業実績
中部 (全域対象)	子どもと大人の 温かい絆づ くりセミナー	<p>○保育士・幼稚園教諭向けセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9/14 (月)、10/19 (月) 静岡県総合社会福祉会館</li> <li>・ CARE-Japan 西田 泰子シニアトレーナー(常葉大学短期大学部保育科特任教授)</li> <li>・ 参加者：各14人</li> </ul> <p>*静岡県教育委員会、県幼児保育研究会(県公立幼稚園教育研究会、県私立幼稚園振興協会、県保育連合会)との共催</p>

## ウ 人権教育・啓発指導者の養成

		事業実績																		
中部 (全域対象)	人権啓発指導者養成講座	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、当初予定時期(7月中旬～8月中旬)から、1月中下旬に延期したが、再び感染拡大が見られたことから、1月12日(2講座)のみの開催となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>講座</th> <th>講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1/12 (火)</td> <td>再犯防止 ・非行からの立ち直り (再犯防止)</td> <td>静岡少年鑑別所長 内田 桂子 氏</td> </tr> <tr> <td>性的指向・性自認 ・LGBT</td> <td>株式会社エテ 代表取締役 安池 中也 氏</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(中止) 1/20 (水)</td> <td>インターネット ・インターネットと人権</td> <td>静岡大学教育学部准教授 塩田 真吾 氏</td> </tr> <tr> <td>外国人 ・外国人と人権</td> <td>静岡大学教育学部准教授 ヤマモト ルア エミコ 氏</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(中止) 1/25 (月)</td> <td>感染症等 ・感染症差別と人権</td> <td>静岡大学人文社会科学部准教授 山本 崇記 氏</td> </tr> <tr> <td>同和問題 ・同和問題</td> <td>磐田市ふれあい交流センター指導員 本間 肥土美 氏</td> </tr> </tbody> </table> <p>○参加者：60人 (民生委員、人権擁護委員、県市町職員、教育委員会、企業)</p>		講座	講師	1/12 (火)	再犯防止 ・非行からの立ち直り (再犯防止)	静岡少年鑑別所長 内田 桂子 氏	性的指向・性自認 ・LGBT	株式会社エテ 代表取締役 安池 中也 氏	(中止) 1/20 (水)	インターネット ・インターネットと人権	静岡大学教育学部准教授 塩田 真吾 氏	外国人 ・外国人と人権	静岡大学教育学部准教授 ヤマモト ルア エミコ 氏	(中止) 1/25 (月)	感染症等 ・感染症差別と人権	静岡大学人文社会科学部准教授 山本 崇記 氏	同和問題 ・同和問題	磐田市ふれあい交流センター指導員 本間 肥土美 氏
			講座	講師																
		1/12 (火)	再犯防止 ・非行からの立ち直り (再犯防止)	静岡少年鑑別所長 内田 桂子 氏																
			性的指向・性自認 ・LGBT	株式会社エテ 代表取締役 安池 中也 氏																
		(中止) 1/20 (水)	インターネット ・インターネットと人権	静岡大学教育学部准教授 塩田 真吾 氏																
			外国人 ・外国人と人権	静岡大学教育学部准教授 ヤマモト ルア エミコ 氏																
(中止) 1/25 (月)	感染症等 ・感染症差別と人権	静岡大学人文社会科学部准教授 山本 崇記 氏																		
	同和問題 ・同和問題	磐田市ふれあい交流センター指導員 本間 肥土美 氏																		

## エ 企業向けセミナー

		事業実績
中部	企業と人権 セミナー (経済産業省 委託事業)	<p>11/9 (月) 男女共同参画センターあざれあ</p> <p>○講師：栗田 勇 氏 (弁護士法人 栗田勇法律事務所 代表弁護士/社会保険労務士)</p> <p>「企業におけるハラスメント対策～企業活動と人権～」</p> <p>○受講者：58人</p>

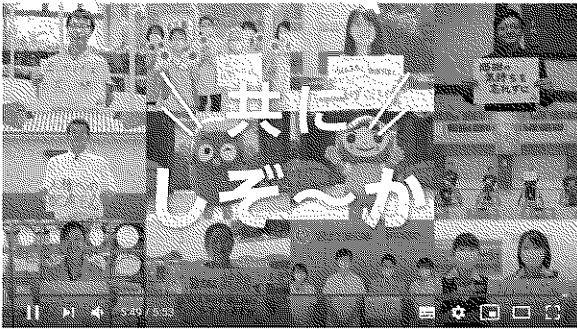
## オ 人権ユニバーサル事業

		事業実績
中部 (全域対象)	LGBTに関する講座	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止
	車椅子バスケットボール体験	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント全体が中止

## カ 市町・民間団体等との連携、県民との協働

		事業実績
中部 (全域対象)	クローズアップ人権講座	11/23 (月・祝) 静岡市東部勤労者福祉センター 清水テルサ ○講師 幸島 美智子 氏 (子育てアドバイザー) ○演題「インターネットと人権～トラブル回避と人権尊重～」 ○受講者：14人

## ② 新型コロナウイルス感染症に係る「STOP! 誹謗中傷」に向けた取組

		事業実績
全域	「人権への配慮」に対する周知啓発	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染者や医療従事者、その家族に対し、差別や偏見、嫌がらせなどの不当な対応を受ける問題が発生したことを受け、本県では、『静岡県新型コロナウイルス感染症に係る「STOP! 誹謗中傷」アクション推進チーム』(人権同和対策室も構成員)を立ち上げ、対応に当たり、テレビやラジオ、新聞広告や県民だより等を活用しての周知啓発活動を実施した。</p> <p>○主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発動画作成・発信</li> </ul> <p>10組の出演者がリレー形式で動画に出演し、それぞれの立場から、県民に向けてのメッセージを発信 ※動画再生数：約7,000回以上(令和3年3月22日時点)</p> 

・県知事メッセージによる広報

SNS等のインターネット上の誹謗中傷やデマの拡散に対して、お互いの人権を尊重し、そのような行為をしたり、同調することがないように、新聞広告を活用し、周知啓発（5紙に掲載）

・人権週間でのテレビ、ラジオCM、Youtube 動画、ポスター掲示による広報活動

藤枝市出身の絵本作家マスカルシ氏のイラストによる動物のキャラクターを使って、相手の立場になって想像し、感染者の方に対しては「おだいじに」と思いやる心を持つこと、こういうときだからこそ嬉しい気持ちを積極的に伝えることを、「あたらしい心の様式」とすることを呼びかける取組を実施

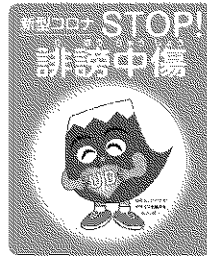
※動画再生数（4パターン）：約13万回以上  
（令和3年3月22日時点）

・「相談窓口の手引」の作成・周知

被害者に寄り添い、適切な専門機関等へ速やかに繋げ、被害者の救済に資するための相談の手引きの作成や誹謗中傷被害の解決に向けて、削除要請先等の相談機関の紹介チラシの作成・周知

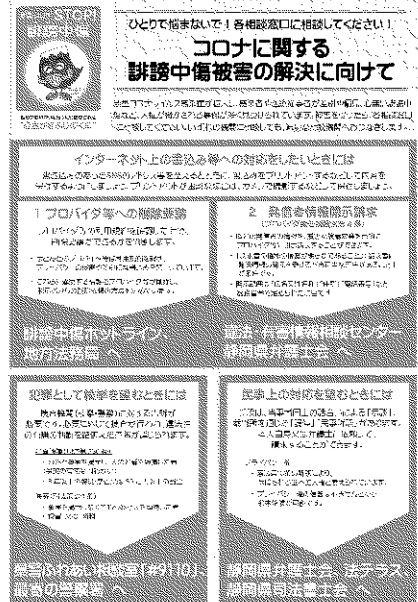
静岡県新型コロナウイルス「STOP! 誹謗中傷」アクション

相談窓口の手引



誰もが思いやりを持った行動がとれる  
“心豊かなふじのくに”

静岡県くらし・環境部



※その他の取組

- ・ 広報冊子「じんけん」による人権会議委員のメッセージ掲載
- ・ センターホームページへの掲示（人権への配慮、日本赤十字社資料紹介）
- ・ 「県民だより」お知らせ欄へのメッセージ掲載
- ・ テレビ、ラジオでの情報発信（県広報枠の活用）
- ・ コミュニティFMでの情報発信
- ・ クローズアップ人権講座「インターネットと人権」開催
- ・ 静岡県人権・地域改善推進会との協働による啓発動画の作成（小学校へ配付）

(3) 相談業務

① 人権相談・法律相談

		事業実績						
全域	人権相談・ 法律相談	(単位:件)						
		区分	令和2年度 (2年2月末)	相談事例				
		女	性	2	・付き合っている男性との関係についての相談			
		子	ど	も	6	・子どもに対する学校の対応 ・いじめに対する対応		
		高	齢	者	4	・社会福祉施設とのトラブル ・自宅リフォームなどの消費者問題		
		障	害	者	6	・近隣からの嫌がらせ ・就労支援事業所の対応		
		同	和	問	題	2	・特定の所在地について同和地区かどうかの確認	
		外	国	人	4	・近隣との騒音等のトラブル ・携帯電話会社の対応		
		そ	の	他	人	権	121	・行政機関の対応 ・医療施設の対応 ・ハラスメント、嫌がらせ等
		(えせ同和行為含む。)		(※)				
合	計	145						
※上記のうち、新型コロナウイルス関連相談件数		53	・苦情、要望 ・差別的対応 ・心配事相談					
※「その他人権」の主な内訳: (人権侵害関係)家庭・親族問題10、役所等への苦情等10、近隣トラブル8、職場トラブル10 など								

② えせ同和行為への対応

		事業実績		
全域	えせ同和行為への 対応	(単位:件)		
			令和元年度	令和2年度(3年2月末)
		相 談 件 数	0	0
2 えせ同和行為排除啓発講演会 2年1度開催(前回は、令和元年度開催)				
※静岡県えせ同和行為対策関係機関連絡会(静岡地方法務局、静岡県、静岡県警察本部、静岡県弁護士会等)が主催				

(4) 県民による自発的学習への支援

① 啓発教材の貸出

		事業実績						
全域	ビデオ・DVD・ 図書の貸し出し  図書総数：1,103冊 ビデオ・DVD 総数：466本  (単位：件)		令和元年度			令和2年度 (2年2月末)		
			映像	図書	計	映像	図書	計
		学 校	2	0	2	50	0	50
		企 業	17	0	17	16	0	16
		団 体	1	0	1	8	9	17
		個 人	23	114	137	61	86	147
		行政機関	5	0	5	1	0	1
		講演会等	25	1	26	2	0	2
		合 計	73	115	188	138	95	233

② ホームページからの情報発信

		事業実績
全域	人権啓発センター ホームページ リニューアル	人権啓発センターのホームページをリニューアルし、県公式ホームページ内へ移設

③ 啓発誌等の発行

		事業実績		
全域	人権啓発センター だより「じんけん」		令和元年度 通巻67～69号 各7,000部	令和2年度 通巻70～72号 各7,000部
	※送付先：企業、学校、団体、国、県、市町関係機関等			
	人権リーフレット	<新規> VOL.8 感染症による人権問題を知っていますか？ 3,000部		



(5) 市町への支援

		事業実績															
全域	法務省 地域人権啓発 活性化事業 (市町実施分)・ 地方再委託費 (国10/10)	(事業内容) ・ 講演会の開催、人権啓発資料の配布等 ・ 花の育成を通じた児童生徒への人権啓発															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部</td> <td>熱海市, 沼津市, 富士宮市, 伊豆市, 西伊豆町 (4市1町)</td> <td>熱海市, 沼津市, 伊豆の国 市, 富士市, 松崎町 (4市1町)</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>焼津市, 藤枝市, 川根本町, 吉田町 (2市2町)</td> <td>焼津市, 藤枝市, 牧之原市, 吉田町 (3市1町)</td> </tr> <tr> <td>西部</td> <td>袋井市, 磐田市, 御前崎市 森町 (3市1町)</td> <td>袋井市, 磐田市, 菊川市, (3市)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13市町 国費9,876千円</td> <td>12市町 国費10,087千円</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	令和2年度(見込)	東部	熱海市, 沼津市, 富士宮市, 伊豆市, 西伊豆町 (4市1町)	熱海市, 沼津市, 伊豆の国 市, 富士市, 松崎町 (4市1町)	中部	焼津市, 藤枝市, 川根本町, 吉田町 (2市2町)	焼津市, 藤枝市, 牧之原市, 吉田町 (3市1町)	西部	袋井市, 磐田市, 御前崎市 森町 (3市1町)	袋井市, 磐田市, 菊川市, (3市)	合計	13市町 国費9,876千円	12市町 国費10,087千円
			令和元年度	令和2年度(見込)													
		東部	熱海市, 沼津市, 富士宮市, 伊豆市, 西伊豆町 (4市1町)	熱海市, 沼津市, 伊豆の国 市, 富士市, 松崎町 (4市1町)													
		中部	焼津市, 藤枝市, 川根本町, 吉田町 (2市2町)	焼津市, 藤枝市, 牧之原市, 吉田町 (3市1町)													
西部	袋井市, 磐田市, 御前崎市 森町 (3市1町)	袋井市, 磐田市, 菊川市, (3市)															
合計	13市町 国費9,876千円	12市町 国費10,087千円															
全域	県交付金事業 (県1/2、 市町1/2)	(事業内容) ・ 市町が実施する人権啓発事業への助成(講演会、地域指導者研修、 講師派遣、啓発用資機材整備等)															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部</td> <td>沼津市, 伊豆市, 富士市 (3市)</td> <td>沼津市, 伊豆市, 富士市(3 市) ※熱海市(中止)</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>藤枝市, 島田市(2市)</td> <td>藤枝市, 島田市(2市)</td> </tr> <tr> <td>西部</td> <td>菊川市, 掛川市, 袋井市, 磐田市, 湖西市(5市)</td> <td>菊川市, 袋井市, 湖西市 (3市)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10市 県費1,475千円</td> <td>8市 県費1,072千円</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	令和2年度(見込)	東部	沼津市, 伊豆市, 富士市 (3市)	沼津市, 伊豆市, 富士市(3 市) ※熱海市(中止)	中部	藤枝市, 島田市(2市)	藤枝市, 島田市(2市)	西部	菊川市, 掛川市, 袋井市, 磐田市, 湖西市(5市)	菊川市, 袋井市, 湖西市 (3市)	合計	10市 県費1,475千円	8市 県費1,072千円
			令和元年度	令和2年度(見込)													
		東部	沼津市, 伊豆市, 富士市 (3市)	沼津市, 伊豆市, 富士市(3 市) ※熱海市(中止)													
		中部	藤枝市, 島田市(2市)	藤枝市, 島田市(2市)													
西部	菊川市, 掛川市, 袋井市, 磐田市, 湖西市(5市)	菊川市, 袋井市, 湖西市 (3市)															
合計	10市 県費1,475千円	8市 県費1,072千円															
賀茂	市町人権施策 推進担当課長 会議の開催 (4地区35市町)	<b>※書面開催に変更</b> 市町における人権啓発の取組の要請、静岡県人権施策推進計画 (第3次改定版)(案)の概要、部落差別解消推進法の概要説明、 えせ同和行為への対応 ほか															
東部																	
中部 西部																	